

私が「原子力発電」に反対する理由

2. 原発の導入は、核戦争の裏面

○主な経過

- ・1939年ドイツの核開発に危機を抱いた科学者が提言
- ・マンハッタン計画、20億ドルの機密国費
- ・1943年 濃縮ウラン工場
- ・1945年 広島・長崎
- ・1949年 ソ連の原爆開発 中華人民共和国成立
- ・1950年 朝鮮戦争
- ・1952年 水爆開発 1953年 ソ連も
- ・1953年 アイゼンハワー 原子力の平和利用を提案 ← ソ連の軍拡非難
- ・1954年 原子力予算
- ・1956年 日米原子力協定
- ・1968年協定 30年間154トンのウラン235受け入れ義務付け

○原子力発電自体は、目的でなかった = そもそも安全性は追求されていない

- ・戦争の道具としての、原子力開発・・・膨大な資源の投入・・・
- ・冷戦での核軍拡競争、批判のなかで生まれた”核の平和利用”
- ・ウラン濃縮は核保有国
- ・核爆弾は十分すぎるほど製造、しかし濃縮ウランの製造能力は原発用として維持

2010年濃縮ウラン輸入700t うち500t がアメリカ

- 日本の原発停止で米ユーゼック社が経営破綻(14年3月)・・・裏を返せば、日本への販売でなりたっていた。
※アメリカが日本の原発停止に反対した理由。
※原発の停止で(原発推進派は)輸入燃料の増を問題としているが、減る(濃縮ウラン)分についてはなにも言っていない。